

multilingual translation >

You can get information about
Yonago on your smartphone.



音声読み上げ・多言語翻訳は「カタログポケット」で

みず・まち・自然 エンジョイ！米子

広
報

よなご

9

2025
September
No.246

特 集

チームで支える在宅医療

—住み慣れた環境で自分らしく—

チームで支える在宅医療

「住み慣れた環境で自分らしく」

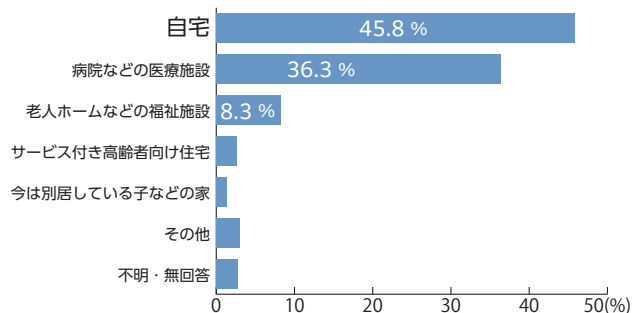


もし病気になって介護が必要になったら、どこで、どのように、過ごしたいですか。そんなとき、「在宅医療」という選択肢があります。

住み慣れた環境で自分らしく過ごすため、自宅などでの療養をさまざまな専門職が連携してチームで支えます。

☎ 長寿社会課 (☎ 23-5156)

万一、治る見込みがない病気になった場合、
最期はどこで迎えたいですか



出所：内閣府「高齢者の住宅と生活環境に関する調査」(2023)より作成

自宅で過ごしたい

内閣府が令和5年に全国の65歳以上を対象に行った調査によると、「万一、治る見込みがない病気になった場合、最期はどこで迎えたいですか」という問いに対し、最も多かったのが「自宅」という回答で、次に「病院」「老人ホーム」が続きました。

米子は在宅医療の環境が充実

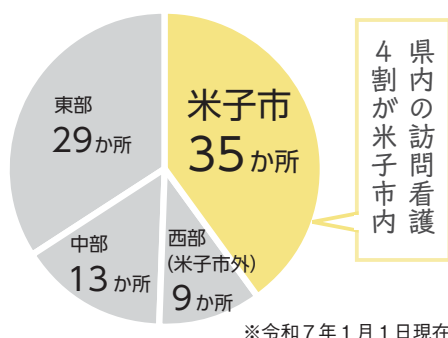
米子市には鳥取大学医学部附属病院をはじめとした大規模な病院が複数あります。

また、人口あたりの医療機関数や介護施設数が充実しており、全国的に見ても米子市は医療環境に恵まれています。

さらに、在宅での療養や看取りを支える医療機関（訪問し診療を行うクリニック、訪問看護や生活サポートを行う訪問看護ステーション、訪問し薬の管理を行う薬局など）も充実しています。

例えば、訪問看護ステーションは、鳥取県内にあるステーションのうち、4割が米子市内にあります。

鳥取県の訪問看護ステーション数



※令和7年1月1日現在

在宅医療とは

住み慣れた環境で穏やかに療養できる

在宅医療は、生活する自宅や施設で受ける医療のことです。医師や看護師が患者の生活する場に訪問し、診療や看護を行います。通院の負担が減り、住み慣れた環境で穏やかに療養できるのが魅力です。

また、患者本人に「住み慣れた環境で自分らしく最期まで過ごしたい」という希望があり、家族の理解がある場合は、在宅医療のサービスを利用して、在宅看取りという選択肢を選ぶこともできます。

対象は在宅を望む人

年齢や病気に関わらず通院が困難で、在宅での療養を望んでいる人が、在宅医療の対象となります。

多様な専門職が連携

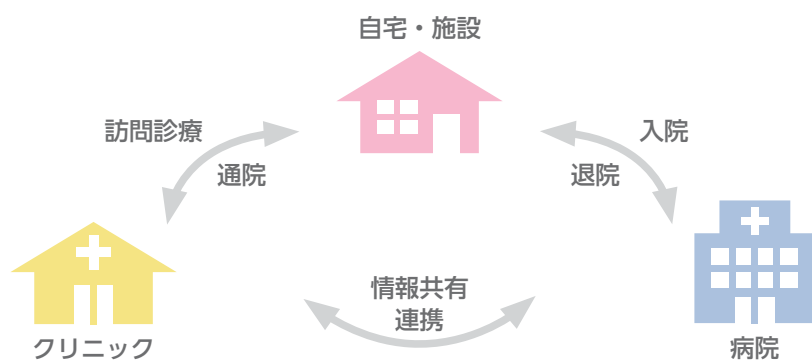
医師、看護師、薬剤師、ホームヘルパー、福祉用具事業所など医療と介護のさまざまな専門職が連携して、在宅で安心して療養できるように患者と家族を支援します。

このほか、病院の地域連携室の相談員が退院後の生活に必要なサービスを調整したり、地域包括支援センターやケアマネジャーが地域で相談支援を実施するなど、さまざまな場面で専門職がチームを組んで話し合い、患者や家族の希望を叶えるサポートを行います。

さまざまな専門職が連携して、患者や家族の生活の場に関わるのが、在宅医療の特徴です。

体の状態の変化に
合わせた療養が
選べます

病気の状況や、患者や家族の希望に合わせて、在宅医療と通院や入院を組み合わせて療養することができます。



退院後の生活を相談できる 病院の地域連携室



鳥取大学医学部附属病院
医療福祉支援センター
看護部長 堀人 法子 さん（中央）
看護師 田中 智子 さん（写真右）
看護師 瀧田 千恵美 さん（写真左）

お気持ちに寄り添って支える

退院された後どのような生活を望まれているのか、看護師や社会福祉士がさまざまなタイミングでお気持ちを確認するよう心がけています。また、病棟看護師や病院内外の多職種とも連携をとりながら、患者さんやご家族が安心して生活できるようサポートをしています。今後も、患者さんやご家族のお気持ちに寄り添うことを大切にして、必要なサポートが受けられるように、地域につないでいきたいと思ひます。

電動ベッドや手すりなどをレンタルできる 福祉用具事業所



ウィードメディカル
米子営業所
明珍 直也 さん

負担を軽減できるように

在宅で療養する方やご家族がどんな生活を望まれているかお話を伺い、病状や身体機能、介護の状況やご自宅の環境に合うような福祉用具を提案しています。筋力やバランス能力の低下により、住み慣れた自宅であっても、今までできていたことができなくなることもあります。不安な気持ちや身体的な負担を少しでも軽減できるように、生活環境を整備するお手伝いをしたいと考えています。

安心して自宅などで療養できるように、さまざまな職種の人たちが連携して在宅医療を支えます。家族の看病や介護に不安を感じたとき、療養中に困ったときに、助けてくれるサポートチームを紹介します。

私たちが支えます！心強いサポートチーム

鳥取県西部の在宅医療
と介護の連携の場

西部在宅ケア研究会

在宅ケアに関わる医療職や介護職などさまざまな人たちが集まり、情報交換や研さんをする場である西部在宅ケア研究会。在宅療養をする方のQOL（生活の質）向上をめざして、平成12年に発足しました。全国的にも先駆的な活動であり、平成30年には保健衛生の分野で最も権威ある賞とされる「保健文化賞」を受賞しています。年に3回行う例会は、職種の垣根を越えて集まった参加者たちがグループディスカッションを行うなど、在宅ケアに関わる人たちが「顔の見える関係」を築き、連携を深める場となっています。こうした活動が、鳥取県西部圏の在宅医療と介護の連携を支えています。

グループディスカッションで
「顔の見える関係」に



在宅医療や在宅介護のための各施設に関する情報を確認したいときは、鳥取県西部圏域の医療機関や介護施設などを一覧にまとめている「医療・介護連携ガイド」をご活用ください。



訪問診療だけでなく、在宅看取りも支える クリニック

自分らしく生きられるように支えたい



在宅ケアクリニック米子
院長 辻 貴一郎 さん

医師として訪問診療をすると「いつまで家にいられるか」と聞かれることがありますが、米子は在宅で療養するためのサービスが充実しているので、不安に思われることを解決できる場合が多いです。病気があっても自分らしく生きられるように支えたいですし、患者さんやご家族により良い時間を過ごしてもらいたいと思っています。どんな状態でも自宅で過ごすという選択肢があることを知ってほしいです。

ほかにも、さまざまな医療や介護の専門職が連携してサポートします。

寄り添って、療養と生活をサポートする 訪問看護ステーション



すまいる訪問看護
リハビリステーション
つぼくら まゆ
看護師 坪倉 真由 さん

対話の時間を大切にしたい

看護師としての確に状況判断ができるだけでなく、家族のような温かみを感じてもらえるように、対話の時間を大切にしたいと思っています。介護経験がなく不安に思うご家族には、おむつの選び方や当て方、食事の種類や食べさせ方などを具体的にアドバイスしてサポートします。訪問看護は、重病の方でなくても、まずは日々の体調確認から活用できるので、気軽に利用を考えてみてほしいです。

定期的に訪問して薬を管理する 薬局



西部薬局
たかつか ゆうた
薬剤師 高塚 雄太 さん

安心して家に戻ってきて！

薬を毎日きちんと飲むことはとても難しいことだと思います。訪問して生活スタイルを知り、飲み忘れを防ぐ工夫や患者さんに合う薬の調整ができるよう、日々考えています。薬剤師というだけでなく、患者さんに寄り添う人でありたいと思っています。在宅での療養や看取りに思いがあるなら、ぜひ安心して家に戻ってきてほしいです。在宅医療のチームで連携して、希望を叶えるお手伝いをします！

ご相談はお気軽に

ご本人が住んでいる地区を担当する地域包括支援センターにご相談ください。

- ▶ 東山地域包括支援センター（啓成・車尾） ☎ 23-5471
- ▶ 福生地域包括支援センター（福生東・福生西） ☎ 30-2840
- ▶ 福米地域包括支援センター（福米東・福米西） ☎ 36-8001
- ▶ 湊山地域包括支援センター（明道・就将） ☎ 23-6790
- ▶ 後藤ヶ丘・加茂地域包括支援センター（義方・住吉・加茂・河崎） ☎ 48-1365
- ▶ 尚徳地域包括支援センター（五千石・尚徳・永江・成実） ☎ 26-6588
- ▶ 弓浜地域包括支援センター（彦名・夜見・富益・崎津・大篠津・和田） ☎ 48-2330
 - ▷ 弓ヶ浜出張所（彦名・夜見・富益・崎津・大篠津・和田） ☎ 36-8360
- ▶ 箕蚊屋地域包括支援センター（巖・春日・大高・県） ☎ 27-6500
- ▶ 淀江地域包括支援センター（淀江・宇田川・大和） ☎ 56-1118

在宅医療について
もっと知りたくなったら

在宅医療キホン講座

～人生の最期を笑顔で迎える～

▶ と き

9月20日（土）

午後1時30分～4時

▶ ところ

ふれあいの里

※電子申請が電話で申込み

圃 長寿社会課（☎ 23-5156）

